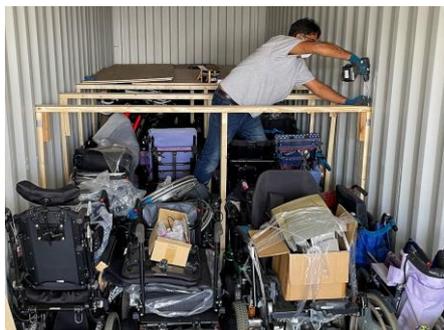


さくら・車いすプロジェクト 2022 活動報告



4月2日

パキスタンへ、全国から提供いただいた中古の電動車いす 83 台と「海外に子ども用車椅子を送る会」さんがリメイクし、梱包してくれた手動車いす 72 台を、「海外に子供用車椅子を送る会」との協働で、40 フィートコンテナに積み込み、発送しました。



羽田空港 到着



テレビ局のインタビュー

6月12日

パラリンピック、シリアの難民選手：イブラヒム選手が、世界難民の日に再来日しました。

新聞記載の通り、本来世界選手権がある中、日本との友情を選び、車椅子バスケットなど沢山の交流を行いました。パラリンピック帰国時に差上げたバスケット用車いすを持つての来日でした。



6月24日 【松永製作所見学】

イブラヒム選手と、競技用車いすを製作している松永製作所の工場見学に行きました。松永製作所はチャンピオンを何度も出している会社でパラリンピックの時もこの工場が全面的に応援をしました。イブラヒムが使用しているバスケット用の車いすを、競技用シーティングのベテランが、アドバイスや調整を手際良く次々で行ってくれました。



8月4日 【神戸港出航】

モンゴルに向け、日本の4団体（飛んでけ車いすの会・海外に子供用車いすを送る会・希望の車いす、福山市のCIL 神辺さん）から提供頂いた140台の車いすを、広島県福山市のCIL 神辺さんより積み込み発送して頂きました。

8月22日 【目録贈呈式】

今年はモンゴルとの国交50周年で、友好訪問団との交流会がウランバートルにて開催されました。交流の応援に、過日 ALL JAPAN として4団体から贈られ、コンテナ輸送中の140台の車いすの目録を、団長の林議員より、届けて頂きました。受取人は当工房や様々な日本の団体で1年研修をした首相補佐官のバヤール氏です。



友好議員団

持参目録



9月初旬

車椅子はモンゴルに届きました。カウンターパートのバヤールさんから、車いすの種類に応じ、様々な施設やリハビリセンターに届けられました。後日その喜びの動画も送られてきました。



9月6日

カンボジアから、第22期ダスキン研修生ウェンさんがJICAの方と来訪されました。車椅子ユーザーなので、当社の電動で、段差や急勾配の場を乗ってもらいました。



9月21日

ドゥルガ：ネパール大使

以前車いすを贈ったことから、ネパールの商工会議所会長のバララムさんから、ネパール大使公邸での交流会にご招待されました。気さくなドゥルガ大使やNRNA会長と楽しく交流させていただきました。



10月4日 希望の車いす」さん達11人が来訪してくださいました。

活動は、中古の手動車いすを皆で綺麗にリメイクして様々な国に送付しております。8月には他の4団体と協力してモンゴルに140台の車いすを贈りました。10日ほど前に届いたと知らせが入りました。



10月15日

「さくら・車いすプロジェクト」10/13～15日の3日間で173台の中古電動車いすと、子供用車いすを40フィートコンテナに積み込みました。今回も「海外に子供用車いすを送る会」さんとのコラボです。パキスタンには今回で20回目のコンテナで、中古電動車いすは1300台程になります。



10月19日

さくら・車いすプロジェクト、活動報告・交流会が開催され12年間の歩みの分かち合いが行われました。パキスタンからシャフィック代表達が、パキスタン大使館や、外務省やJICAの方々、またこれらの原点であるダスキンの愛の輪基金事務局からも、またパキスタンに技術支援に赴いてくださった方々、協働で車いすを送った団体等々、宮崎、高松、大阪、新潟、茨城、パキスタンなどから50人近くの方が集ってくださり、在パキスタン日本国大使からもお祝いメッセージをいただきました。両国からの活動報告、がパワポや動画で紹介されました。皆さんから提供頂いた電動車いすはマイルストーンで整備リニューアルされ、それらが街中を走ることによってバリアフリーが進み、学校に通えるようになったり、就労が出来たりした事を報告してくださり、支援して下さってきた方々の大きな励みになりました。そしてバイオリン、ギターのコンサートや、ダスキンの研修生の仲間でモンゴルのバヤールからテレビ会議で、お祝いメッセージをいただくなどで、とても楽しく時を過ごすことができました。



その時の様子は、墨田区さんが、「すみだまちかど放送局」Youtubeで流して下さっています。3～4分ですが、とてもよくできております。(いつでも見れます)

<https://www.youtube.com/watch?v=ccLJPRwyTKg>



11月2日 【NHK 国際報道】

当社や日本で研修していた、ベトナムのヒョウさんが、ベトナムに帰ってからの活動が、NHK 国際報道で紹介されました。興味深いです。

彼女は必ず、ベトナムに新しい道を開くでしょう。さくら、からの車いすも有効に使ってれています。



12月28日 【ウクライナへの一便：福山での積込み】

ロンドン在中の国際ジャーナリスト、木村正人氏からのウクライナの現状から、500台の車椅子を提供できないか、との要請があった。今回は継続的な事になりそうでもあり、ALL JAPAN で臨むことで、声をかけ合い、その第一便として、福山市のCIL 神辺さんからまずは146台の車椅子を緊急で送ることになった。そのコンテナ費は日本郵船さんが、CSR（企業の社会的責任）として支援して下さることになった。

木村様は、ご夫妻で、この積込にも立ち合い、地元マスコミの取材やテレビでの放映もあった。

第二便は、「希望の車いす・飛んでけ車椅子の会・海外に子供用車いすを贈る会」からの車椅子を希望の車いすさんの、東京の関連倉庫に集荷して23年1月末に150台程を発送する予定です。